

寿北小学校六年

福祉・ボランティア

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

だれかにとけ

寿北小学校 六年 迫田 優羽

私は、三年間以上かみをのばしている。その理由は、ヘアドネーションに協力したいからだ。ヘアドネーションとは、小児がんや妻がなどで頭髪を失った人のために、ウィッグ用のかみを寄付することだ。

私が五才くらいの子の部屋に入ると、たくさん並べられた写真の数々が目に入った。その写真の多くが友達、そして十才くらいの少女のものだった。その少女には、かみもまゆげもなかつた。当時の私が、その写真を不思議そうにのぞいているのを見かねた友達のお母さんが、私に言い聞かせるように、こう教えてくれた。

「この写真の子はね、あの子のお姉ちゃんなのよ。小児がん、ていう、重い病気なの。かみもまゆげもないのは、かみを治すために、強い薬を使っているからなの。」

(不許複製)

No. 1

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。



2 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましよう。
段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましよう。

月 日 曜日

それを聞いた私は、とてもしやうけきを受け
 少しの間、動けなかつた。その頃の私は、病
 気は薬を飲めば大丈夫な心と思つていたから
 だ。それから、病気で辛い思いをしてゐる人
 の役に立ちたいと思ひ、私に何かできるか探
 した。探してから二年すぎた頃、自分が人の
 役に立てることを見つけた。それが、入道不
 一ニシヨシだ。た。それを知ら、た私は、その日
 からかみ毛のはしほじめた。私のかみが人の
 役に立てるのがうれしかつた。しかし、かみ
 をのばすのは、そう簡単にはいかなかつた。
 夏はかみが長いため暑く、かみを洗つてかわ
 かしたりするのにも、手間や時間がかかる。
 っもう無理。かみを切る。
 とあきらめようとしたこともある。でも、私
 なんかより何倍も辛い治りやうを乗りこえて
 いるあのお姉ちゃん、笑顔が頭にうかぶ。か
 みやまゆがないことで、周りの人から見られ
 たり、心無い言葉をかけられて、辛い思いを
 してゐる人がいると思ふと、あきらめてゐる

No. 2

3 詩ほどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましよう。
 4 書き終つたら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましよう。

(不許複製)



20x20

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

月 日 曜日

場合ではないと自分をふるい立たせた。
外見も内面も、それから能力もその人だけ
がもつありのままの自分だ。感性や気持ちも
みんなちがっている。私たちは、みんなちが
ていることを理解しているはずだ。それなの
に自分と違うだけで人を差別したり、目をそ
おけてしまったりすることがある。そんな悲
しい現実が社会や世界にある。悲しい現実が
あったとしても、一人一人が努力することは誰に
だってできる。一人一人の努力で、だれもが
笑って安心できる社会や世界になるはずだ。
私は、今のばしているかみも切って寄付した
あと、もまた、かみ毛のはすつもりだ。この行
動が私の努力だ。手間や時間はかかるがその
分、辛い思いがこの世から少しでもなくな
ればいいと思っている。私は、ヘアドネーション
のことも多くの人に知ってもらいたい。そ
して、少しでもこの世界から、辛い思いをへ
らし、だれもが笑って安心できる社会ができ
ることを、私は心から願う。

No. 3

(不許複製)

3 詩ほどの行も、ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

